

第6学年1組 道徳科学習指導案

平成30年12月7日（金）第5校時

在籍 男子18名 女子14名 計32名

授業者 有泉 美菜

1 主題 明るく生きる 内容項目【A 正直、誠実】

2 本時のねらい 人は時として判断に迷うことがあるが、その心の内やその後の行動を考え、誠実という道徳的価値の意義を話し合い、理解する活動を通して、どのような状況にあっても、常に誠実に行動し、明るい生活をしようとする心情を育てる。

教材名 手品師 （出典「新しい道徳6」東京書籍）

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

小学校5年生及び6年生の指導の観点は、「誠実に、明るい心で生活すること。」である。誠実に行動するためには、自己の過ちを認め、改めていく素直さとともに、何事に対しても真面目に真心を込めて、明るく楽しい生活を心掛けようとする姿勢を持つことが大切である。過ちや失敗は誰にも起こり得ることである。その時にうそを言ったり、ごまかしをしたりすることがある。このことによって、他者の信頼を失うばかりか自分自身の中に後悔や自責の念、強い良心の呵責などが生じる。それらを乗り越えようとするのが正直な心であり、自分自身に対する真面目さであり、伸び伸びと過ごそうとする心のすがすがしい明るさでもある。このような誠実な生き方を大切にする心を育てていくことが重要である。

指導に当たっては、よくないことと知りつつも自分の意に反して周囲に流されてしまうことや傍観者として過ごしてしまうことは、決して心地の良いものではなく、後ろめたさから、誇りや自信を失ってしまうことが考えられるようにしていく。より明るい心で行動し、真面目さを前向きに受け止めた生活を大切にすることで自己を向上させることや自信につながっていくことを指導することが必要である。

(2) これまでの学習状況及び児童の実態について

本学級の児童は、あいさつや返事を元気にすることができ、明るい前向きな生活をしている児童が多い。6年生になり、4月から最高学年として、学校行事や縦割り班活動、委員会、クラブ活動などを行ってきた。学校のリーダーとしての自覚を持ち、役割を果たそうと誠実に真面目な態度で意欲的に取り組んでいる。しかし、時としてその場に応じた臨機応変な挨拶やお辞儀など礼儀を欠いてしまう児童がいる。また、提出物の期限を守れなかったり、宿題を忘れてしまったりしたときに正直に話したり、謝ったりすることが難しい児童もいる。友人とのトラブルでは、事実や自分の気持ちを正直に言えず、誠実な行動を執ることができない場面も見られる。以上の様子から、誠実に明るく生活することの大切さについて大多数の児童は理解しているが、実際の生活の中では、自分自身が責められたり、不利な立場を回避しようとしてうそを言ったり、ごまかしをしたりして、一時しのぎをしてしまう児童がいると考えられる。

そこで、この学習に関わる実態調査をおこなったところ、結果は次のりになった。(11月26日実施)

(1) 「誠実」と聞いて、どのような意味を思い浮かべますか。	
・素直 ・誠 ・うそをつかない ・きれいな心 ・きちんとしている ・正直 ・真面目 ・約束を守る ・相手のことを思う ・裏切らない など	
(2) ①約束を守れたこと	②約束を守れなかったこと
・提出物の期限 ・日記を書く ・時間を守った など	・勉強をしなかった ・提出物の期限 ・やるべきことやらなかった ・ゲームをやめる時間 ・帰る時間 ・宿題をしなかった など

(3)うそをついたりごまかしをしたりして心が苦しくなった経験はありますか。 ある…22人 ない…10人	
ある→どんな時か。	・しかられたとき ・自分がしてしまったことをしてないと言った ・物を壊したとき ・物をなくしたとき ・本音を言えなかった など
ない→なぜ、そう思うか。	・うそついてはいけないから ・ひどいことだから ・必要なうそしか言わない など

実態調査の結果を見ると、実生活では、利害関係などから不誠実な言動を取ったり、自己防衛や自己顕示の欲求から、他に対してうそをついたり、ごまかししたりする児童がいることがわかる。そこで、本時では「誠実に行動する」ことについて考えながら、自己を見つめ、自己の生き方への考えを深めていく。誠実に行動することで自己のよさを伸ばすことや自己肯定につながっていくことに気づき、明るく生活しようとする意欲を喚起したい。

(3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、あまり売れない手品師が大劇場のステージに立てるチャンスを捨て、男の子と交わした約束を守るという内容の話である。本時の導入場面で学習問題「誠実に行動するとはどういうことなのだろう。」と問いかけ、ねらいとする道徳的価値への意識づけをする。本教材を活用し、児童一人一人が手品師の立場になって考えることで、多面的・多角的な意見を出し合い、話し合いで手品師の心の葛藤をしっかりと見つめ、自己を振り返り「誠実に行動する」ということをじっくり考えさせる。

本学級の児童の実態を受け、主に次の場面を中心に話し合うこととする。

① 男の子と約束した後に、友人から大劇場に出られるという誘いの電話があった場面

ここでは、手品師になって、「大劇場の夢をかなえる」か「男の子の約束を守る」のどちらかの立場になり、自分ならどうするかを考え、話し合う。

② たった一人のお客様の前で手品をしている場面

ここでは、誠実に行動した手品師のすがすがしい気持ちに共感させる。

この2つの場面を通して、手品師の今までの言動から、手品師が大切にすることを考えることでねらいに迫れるようにする。また、手品師の大切にすることが、本時の問題の答えになることをおさえ、ねらいとする道徳的価値への理解を図る。

以上の理由から、本教材を設定した。

4 研究主題との関わり

研究主題

自己肯定感を高める道徳教育～授業づくりを通して～

【仮説】

本時の道徳的価値に関する学習問題を設定し、考えを深めたり、自己を見つめたりして、価値に迫ることができれば、誠実に明るく生活していこうという心情が生まれ、自己肯定感を高めることができるだろう。

【手立て】

学習の方法

本時では、道徳的価値へより深く迫るために、問題解決が中心の学習を展開する。「誠実に行動するとは、どういうことなのだろう。」という問題で本時の学習を行う。

教材文の活用

主人公の立場になって、考えを深め、自己の生き方を見つめさせる。教材文の葛藤場面で、立場を明確にし、話し合いをすることで、「誠実に行動する。」ということを考えさせる。誠実に行動することで、すがすがしく明るく生活することができ、健康的で積極的に自分らしさを発揮し、自己を向上させることや自信につながっていくことができると考えさせる。

他の活動との関連

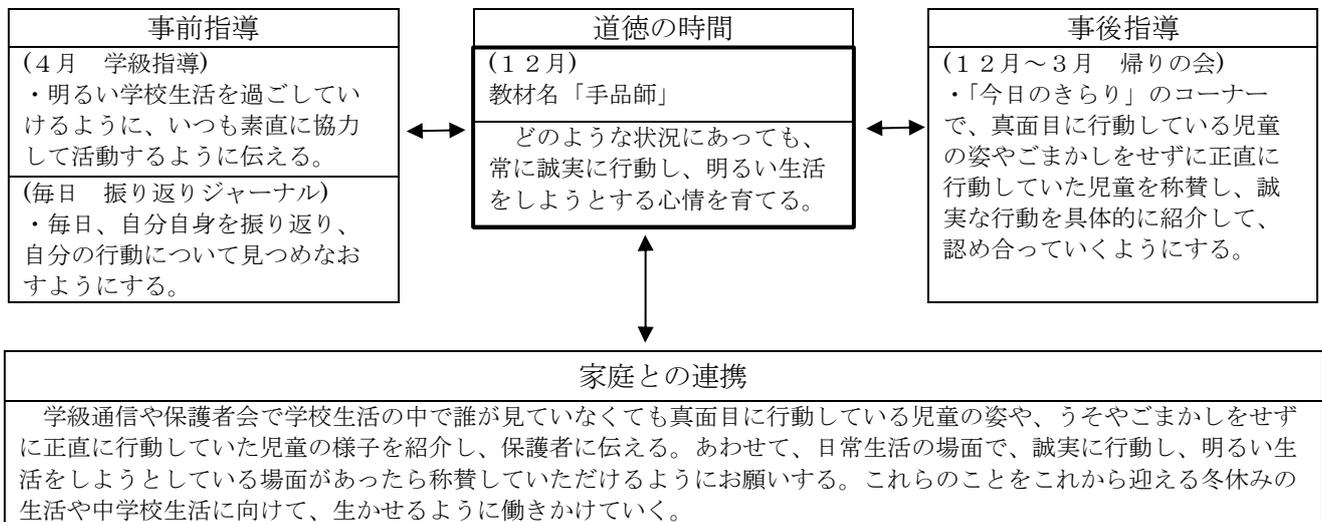
誠実に行動することができる実践的な場面を、朝や帰りの会、他教科の中で意図的に設定する。そして、その行動を紹介し、その誠実さが他の人の明るい生活につながっていることを理解させる。一人一人の誠実な生き方がみんなと楽しい生活を送れるようにしていることに気づかせる。

5 学習指導過程

段階	学習活動・主な発問	予想される児童の発言	指導上の留意点 ☆評価の観点
導入	<p>1 「誠実」について考える。</p> <p>・「誠実」とは、どういうことなのだろう。</p> <p>○アンケート結果</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>誠実な生き方について考えよう。</p> </div>	<p>・真面目。 ・素直。</p> <p>・誠。</p>	<p>・アンケート結果を掲示し、ねらいとする価値への方向付けをする。</p>
展開	<p>2 資料について知る。</p> <p>○手品師の紹介</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[主人公] 手品師 …売れない日々。くらしは楽ではない。「はなやかに手品をやりたい。」大劇場への夢を持ち、腕を磨いている。 [登場人物] 男の子 友人(電話) <条件・情況> 手品師は、自分の手品を楽しみにしている男の子と明日会う約束をする。しかし、友人からの電話で、夢の大劇場のステージに立つチャンスが舞い込んでくる。大劇場の夢をかなえるか、男の子との約束を守るのか、手品師は迷いに迷ってしまう。手品師はどうして行くのだろう。</p> </div>		
	<p>3 教材「手品師」の読み聞かせを聞き、手品師の葛藤場面を中心に話し合う。</p> <p>(1) 友人から大劇場の舞台に出られるという誘いの電話がありました。手品師はどうしたのでしょうか。</p> <p>大劇場の夢 ⇔ 男の子との約束 (補助発問)</p> <p>・もう、こんなチャンスはないかもしれませんが、いいのでしょうか。</p> <p>・夢が現実になりそうな時、どんなことが頭に浮かんだのでしょうか。</p> <p>(2) なぜ、手品師は男の子との約束を選んだのでしょうか。</p> <p>○話し合い (グループ)</p>	<p>(大劇場の夢をかなえる)</p> <p>・こんなチャンス二度とない。</p> <p>・自分の夢をかなえたい。</p> <p>・努力を無駄にしたくない。</p> <p>・生活を変えたい。</p> <p>(男の子との約束を守る)</p> <p>・約束は守らなければ。</p> <p>・男の子を悲しませたくない。</p> <p>・自分にとっては大事な約束。</p> <p>・男の子の気持ちになって。</p> <p>・うそをつきたくなかった。</p> <p>・先に約束していたから。</p> <p>・すっきりする。</p> <p>・すがすがしい。</p> <p>・いい気持ち。</p>	<p>・男の子と会う約束をしていて、男の子が楽しんでいることをおさえる。</p> <p>・迷っている手品師になりきって考えるよう助言する。</p> <p>・大劇場の夢に気持ちが大きく傾くことをおさえる。</p> <p>・出てきた意見を分類ごとに板書する。</p> <p>☆迷っている手品師に共感し、話し合っている。</p> <p>・他から見ると小さい約束でも手品師にとって大切な約束であることをおさえる。</p> <p>・手品師の充実した気持ちも考えさせる。</p> <p>○話し合い (グループ) …3分</p>

	<p>(3) 手品師は、どんな生き方を大切にしていたのでしょうか。</p> <p>4 問題に対する自分の考えを深め、自己を見つめる。</p> <p>・「誠実な生き方」への意見や感想を書きましょう。</p> <p>○ワークシート記入 ○話し合い（クラス）</p>	<p>・嘘をついたり、ごまかしたりしないで、正直に生きること。</p> <p>・約束を守ること。</p> <p>・相手を大切に思い、優しく接すること。</p> <p>・気持ちよく生活していくためにとても大切なこと。</p> <p>・自分も誠実に生きていきたいと思った。</p> <p>・手品師は、とてもいい人だと思った。自分もそうになりたい。</p>	<p>・男の子への思いを通して、手品師の誠実な生き方をおさえる。</p> <p>・時間配分に気をつける。</p> <p>○ワークシート…5分 ○クラス（話し合い）…5分</p> <p>☆誠実な生き方について考えを深め、自己を見つめている。</p>
終末	<p>5 教師の説話を聞く。</p> <p>・夏目漱石の言葉「自分に誠実でないものは、決して他人に誠実であり得ない。」を知っていますか。</p> <p>（参考『私たちの道徳』p39. 40）</p>		<p>・誠実に生きることは、明るく自信を持って生きるために大切であり、自分自身をより高め、肯定することに繋がっていくということを伝える。</p>

6 他の教育活動との関連



7 評価の視点

【物事を多面的・多角的に見ている様子】

- ・迷っている手品師になり、手品師の思いを考え、話し合っている。

【道徳的価値への理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・手品師の生き方を通して、誠実に生きることのよさを自分なりに考え、深めている。

誠実な生き方について考えよう。

○誠実な生き方

手品師の生き方
大切にしたこと

- ・うそをつかない。
- ・ごまかさない。
- ・正直に行動する。
- ・約束を守る。
- ・相手を思う。
- ・優しく接する。

誠実

- ・誠実に生きていくことが大切だと思った。
- ・自分も誠実な生き方をしていきたいと思った。
- ・嘘をついたり、ごまかしたりしないで、生きていきたい。
- ・友達との約束は、最後まで守っていこうと思った。
- ・誠実さについてよくわかった。実践していきたい。

手品師

売れない日々、苦しい生活
大劇場への夢を持ち、
毎日、腕を磨いている。

話し合い

- ・すがすがしい。
- ・いい気持ち。
- ・すっきりする。
- ・自分にとっては大事な約束。
- ・男の子の気持ちになつて。
- ・うそをつきたくなかつた。

挿絵
手品師と
男の子

挿絵
手品師
の顔

挿絵
手品師と
男の子

【友人からの電話…
夢をかなえるチャンス】

大劇場の夢を叶える
こんなチャンス二度とない。
自分の夢をかなえたい。
努力を無駄にしない。
生活を変えたい。

男の子との約束を守る
約束は守らなければ。
男の子を悲しませたくない。
自分にとっては大切な約束
男の子の気持ちになつて。

